

6 調査結果 ※ ただし、この調査により測定できる学力は、特定の一部分です。

(1) 本体調査の結果から

問題は、国立教育政策研究所ホームページに出ています。

教科についての傾向と課題

<http://www.nier.go.jp/13chousa/13mondai.htm>

小学校・国語

全国よりも知識・活用とも、やや劣る結果になっています。

○目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書くことは比較的よくできました。

○俳句の情景を捉えることは比較的よくできました。

●「**ことわざの意味理解**」と「**接続語の活用**」や「**目的や意図に応じ、必要な内容を適切に活用する力**」にそれぞれ課題が見られました。

小学校・算数

全国よりも知識・活用とも、やや劣る結果になっています。

○小数の加法の計算をすることは比較的よくできました。

○飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選択することは比較的よくできました。

●「**四捨五入して処理する方法**」と「**百分率の意味についての理解**」や「**複数の条件を考慮して、条件に合うものを判断する力**」にそれぞれ課題が見られました。

中学校・国語

全体としては、「知識」「活用」ともに、全国の平均正答率よりよい結果になりました。

○文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書くことは比較的よくできました。

○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことは比較的よくできました。

○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことはよくできました。

○表現の仕方に注意して読み、その効果を考えることはよくできました。

●「**漢字の書き**」と「**敬語**」や「**文章の構成や表現の特徴を捉える力**」にそれぞれ課題が見られました。

中学校・数学

「知識」は、「ほぼ同程度」でしたが、「活用」では、「やや劣る」結果になりました。

○具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることは比較的よくできました。

○反比例の式から、グラフをかくことは比較的よくできました。

○与えられた表から情報を適切に選択し、処理することは比較的よくできました。

○資料から必要な情報を適切に読み取ることは比較的よくできました。

●「**空間における2直線の位置関係の理解**」と「**平行四辺形になるための条件の理解**」や「**事象を多面的に見ることができる力**」にそれぞれ課題が見られました。